

明日も元気で来いよ！



7月の玄関掲示

緋鯉（ひごい）と睡蓮（スイレン）が素材です。

緋鯉のうろこは、穴あけパンチで抜いた小さな画用紙を一枚一枚、張り付けて表現しています。多田先生の精巧な細工をぜひ直接ご覧ください。（多目的室前に掲示しています）

月曜朝会で、子ども達に問題を出しました。

「玄関掲示にある花の名前はなんでしょう？」

正解は、前述したように「睡蓮（スイレン）」です。

睡蓮とよく間違われるのが「蓮（ハス）」です。

睡蓮は、花の姿が蓮に似ていて、夕方には花が閉じてしまうので、「**睡る（ねむる）蓮（ハス）**」と名付けられたそうです。

睡蓮と蓮の見分け方で、最もわかりやすいのは、葉の形です。睡蓮の葉は、円形で切れ込みがあります。蓮の葉には、切れ込みがありません。また、睡蓮の花は、水面近くに咲きますが、蓮の花は、水面より高い位置に咲きます。

日本に野生する睡蓮は、白い花で、未の刻（ひつじのこく）（午前2時頃）に花が開くので、「**未草（ひつじぐさ）**」と呼ばれているそうです。

【参考 365日で味わう 美しい季節の花（誠文堂新光社：金子兜太 監修）】



7月 梅雨明け間近

いよいよ7月。

3日の朝、何

人かの子ども達が、「校長先生、セミが鳴いていました」と教えてくれました。

3日は、気温が35℃に迫りました。いよいよ梅雨明けも近づいてきたようです。

さて、左の写真は、7月の玄関掲示です。

朝会が終わったら、早速何人もの子どもが、答えを言い、校長室へ来ました。早い子は、運動場から校長室へ向かう廊下や階段で、答えてくれました。子どもたちのこのような素直な反応が、とてもうれしいです。

いつものように、正解した子どもには、左下のようなカードをプレゼントしています。

人から必要とされる幸せ

1年生のS君は、玄関の掲示が7月分に入れ替わった日に、「校長先生、次のクイズは何ですか？早くカードを用意した方がいいですよ」と言いに来てくれました。また、見守り隊の藤井さんは、「うちのやつ（奥様）が、7月分（のカードは）まだか？と聞いてた」と教えて下さいました。つまり、私のカードを楽しみに待っておられたということです。（カードは、子ども達だけでなく、見守り隊の方にも、時々お渡ししています）

マザーテレサの言葉に「人間にとって一番の不幸は、必要とされないこと・・・」があります。つまり、「人間にとって一番の幸せは、必要とされること」なのだと思います。拙い絵と文字の小さなカードですが、私のカードを楽しみに待っていてくださる人がいる・・・そう思うだけで、幸せな気持ちになります。

これは、子育てでも同じですね。教育では、自尊感情や自己有能感という言葉がよく使われます。子ども達には、「自分は人から大事にされている」「自分は人の役に立っている」と感じられるような機会をできるだけたくさん持たせたいと思っています。

校舎増築工事



増築工事が進んでいます。現在は、基礎の杭を打ち込むために、穴を掘り、地下にある旧校舎の残骸などを取り出しています。大きなクレーン車が校長室のすぐ前で作業しています。校舎全体が揺れています。